

鳥取 YEG 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP

発行:平成28年5月15日
鳥取商工会議所青年部
広報情報発信委員会

鳥取商工会議所青年部通信

5

May 2016

平成28年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 牧浦 健泰
株式会社 牧浦商店

新緑が目にしみる季節となりました。私たち青年部も昨年の中国ブロック大会を終えて通常の活動が徐々に始まり、鳥取YEGにも新しい芽が吹き始めました。

今年度最初の事業として4月5日には、YEG「コミュニケーション委員会」の企画により毎年恒例の『因幡千本桜花見会』を諸先輩方をお迎えし、多くの会員とともに開催し、鳥取の地域のために活動された諸先輩方の偉業に改めて敬服いたしました。日本YEG伴靖前会長も「人のつながりが力になる。YEG活動の積み重ねが、地域、企業とのつながりを高め、志を持って取り組めば、必ず地域、そして日本は良くなると確信している」と言われております。年度初めのこの事業が鳥取YEG全体の活動の原点となり、現役会員にとりましても「桜の園」が大きな誇りであることは間違いありません。『因幡千本桜事業』は、YEGの活動趣旨を後世まで多くの市民に語り伝えることができるでしょう。

さて、4月13日には第1回例会と定期総会が開催され、平成28年度が本格的にスタートいたしました。定期総会では、事業報告、昨年度決算、中国ブロック大会決算、本年度事業計画、本年度予算が慎重に審議され、活発な意見や提言に会員が耳を傾け、1年間の活動の始まりに決意を新たにしました。

総会に限らず理事会、例会、委員会活動等においても会員のおおのが『鳥取YEGの変えたいといけないこと、変えたらいけないこと』についてしっかりと議論して、『伝統を守り未来を創造する』という今年度のスローガンを全会員で具現化していきたいと思えます。

また、4月のスタートを共に迎える新しい仲間が14名も入会してくださりました。今年に入り、ますます勢いが増している鳥取YEGです。ハイタリティーの溢れている皆さんばかりですので、活躍される場所がたくさんあることと思います。鳥取商工会議所青年部は、こうした活動の場所を私たち青年経済人に広く与えてくれます。紙面のこの場をお借りして大変恐縮ではありますが、私たちと志をもつて活動していただけの方を募っております。全ては青年部も藤縄会頭と同じく『鳥取の元気、会員の元気のために頑張つて参りますので、ご指導、ご声援いただきますようお願い致します。』

4月例会・定期総会

日時 平成28年4月13日(水) 19:00～21:00
場所 鳥取商工会議所 大会議室

4月13日(水)、平成28年度4月例会・定期総会を開催しました。本年度より例会進行の中に新しい内容が追加されました。つばは平成28年度日本YEGスローガン、鳥取YEGスローガンの唱和もつばは創立35周年記念事業の際に策定された「今後5年間の活動指針」の唱和です。35周年の際の会長であった谷本監事より策定の経緯や、思いなどの説明を受け、この指針を胸に行動しようとする会員一同思いを新たにしました。

「YEGの仲間として、肩書き世代を超え、共感や魅力を感じて動いて、勇氣笑顔元気盛り上げていきましょう」と牧浦会長よりあいさつがあり、また平成28年度第1回ということで、鳥取商工会議所英担当副会頭より、昨年の中国ブロックの成功に対する感涙の言葉に加え、「中ブロックの翌年である今年は、昨年培った団結をもとに、元気で自由な青年団体としての、新しい色付けをしてください。『勢いを持つている者は結果を出せる』これだけのメンバーが集まり、そして繋がることのできるYEGをしっかりと楽しんでください」との温かいお言葉をいただきました。

今月入会メンバーの紹介に続いて行われた定期総会では、以下の内容が審議されました。

- 平成27年度事業報告
- 平成27年度日本商工会議所青年部第33回中国ブロック大会鳥取大会収支決算書(案)
- 平成27年度収支決算書(案)
- 平成28年度事業計画(案)
- 平成28年度収支予算書(案)
- 別途積立金の使途(案)

各議案について出された質問や提案等について議論が行われ、最終的に原案通り全ての議案が賛成多数により可決されました。

その後、各委員長より年間事業計画の発表があり、新委員会への委員長の思いや活動内容が発表されました。

監事所感では、谷本監事より「人口の少ない鳥取で、こんなにたくさんさんのメンバーが集まる鳥取YEGに、誇りと意欲を持って頑張ってください」と激励の言葉をいただき、閉会となりました。

4月新入会員14名、交代会員2名、全会員数102名。出席率は70%超となる平成28年度の大いなる船出の例会となりました。



英副会頭



牧浦会長

平成28年度 鳥取商工会議所青年部 委員会活動方針

■総務委員会

- 例会・理事会・総会・中ブロ・全国大会等、R53リレーション交流事業。
- ただし、例会については、他委員会が1例会は、企画・運営を行う。
- 今迄、総務委員会では行っていない事業の企画・実行。

■YEGコミュニケーション委員会

- 親会(商工会議所)の業務をYEG会員が理解し利用できるように、会議所の利用方法、関り方について勉強する。
- 会員間交流事業。
- 鳥取しゃんしゃん祭参加。
- 同好会、サークル活動の取りまとめ。
- 因幡千本桜花見会の企画・運営。

■未来づくり創造委員会

- 35周年事業の「環」である『今後5年間の活動指針』について具体的方向及び活動。
- 過去の事業の検証・お城祭り、袋川事業、中心市街地事業等、他)及び今後の活動。
- 来年・再来年、未来の鳥取YEGの事業について、会としての方向性の検討。
- 会員増強。
- お城祭り「奴踊り」の復活。

■地域資源活性化委員会

- 地域資源(観光資源・食など)、前年度中ブロで活用したもの、活用できなかったものの発見・発信等。
- 中ブロ分科会の観光資源、物産資源の可能性を考える。現状に付加価値をつけ新たな可能性を探る。
- 中心市街地の活性化(空き家の活用を考える。(例)ミニシアター、寄席(落語)などのイベント)
- 街を知り、街を歩く。(現在と江戸時代等の比較)

■ビジネススキル向上委員会

- YEG会員の声を反映し、YEG会員としてビジネスに直結させる。
- 会計知識、交渉術、広報戦略・マネジメント等、YEG会員にビジネスに役立つ学びの場を提供する。

■広報情報発信委員会

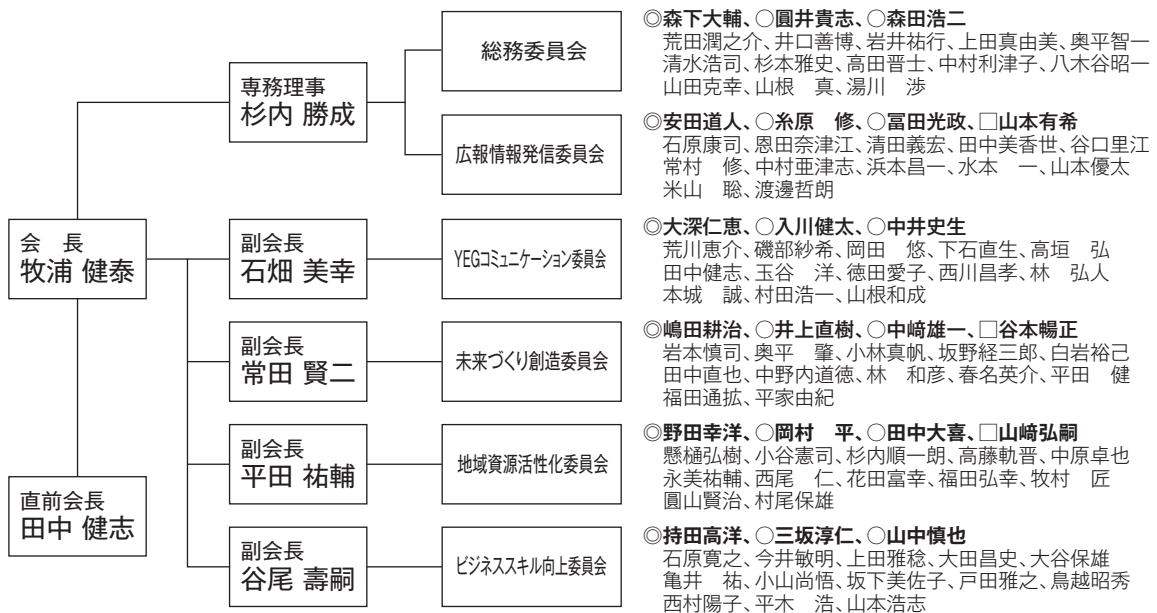
- 鳥取YEGの過去の情報・活動をアーカイブ化し、情報としての整備・発信・保管準備を行う。
- 広報誌、ホームページ、SNS等を使用した、内外部への情報発信の充実。

■各委員会共通事項

- 会員増強。
- 委員会活動の中で可能な場合、オープン委員会(オブザーバー)の開催。
- 各委員会内において少なくとも1～2回程度、外部講師、OB、会員等を招いての勉強会。
- 例)金融、法律、青年部について、不動産、社員教育、労務問題、営業企画等。

平成28年度 鳥取商工会議所青年部組織表

◎=委員長理事 ○副委員長理事 □=監事
(敬称略、理事以下は五十音順)



新入会員



永美 祐輔君
(ながみ ゆうすけ)
事業所名 永美合同事務所
所属委員会 地域資源活性化委員会



中村 亜津志君
(なかむら あつし)
事業所名 (有)大正自動車
所属委員会 広報情報発信委員会



湯川 渉君
(ゆかわ わたる)
事業所名 (有)湯川建設
所属委員会 総務委員会



中野内 道德君
(なかののうちみちのり)
事業所名 (株)サンクリエイト
所属委員会 未来づくり創造委員会



米山 聡君
(よねやま さとし)
事業所名 (株)山幸
所属委員会 広報情報発信委員会



荒川 恵介君
(あらかわ けいすけ)
事業所名 西日本環境設備(株)
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



荒田 潤之介君
(あらかた じゆんのすけ)
事業所名 (株)千代田工務店
所属委員会 総務委員会



林 弘人君
(はやし ひろと)
事業所名 (有)アイエンジニアリング
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



亀井 祐君
(かめい ゆう)
事業所名 (株)砂丘園芸
所属委員会 デジタル向上委員会



高垣 弘君
(たかがき ひろし)
事業所名 (株)魚倉
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



小山 尚悟君
(こやま しょうご)
事業所名 日ノ丸産業(株)
所属委員会 デジタル向上委員会



西尾 仁君
(にしお ひとし)
事業所名 旬彩楼
所属委員会 地域資源活性化委員会



常村 修君
(つねむら おさむ)
事業所名 (株)パレット
所属委員会 広報情報発信委員会



坂野 経三郎君
(さかの けいさぶろう)
事業所名 (有)亀甲や
所属委員会 未来づくり創造委員会



下石 直生君
(おろし なおき)
事業所名 鳥取市経済企画部 政策企画課
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



杉本 雅史君
(すぎもと まさふみ)
事業所名 (株)新日本観光センター
所属委員会 総務委員会

交代会員

鳥取YEGが発起した偉大な事業「因幡千本桜」の歴史を振り返り、後世に伝えていく目的で、平成28年4月5日、因幡千本桜お花見の会「OBを囲む会」を開催しました。OBの皆さまや新会員を含め66名と数多くの参加者が集まりました。

冒頭に千本桜事業の年譜を読み上げ、歴史を丹念に振り返りました。昭和58年度児嶋代表理事からスタートし、昭和59年度今井代表理事、昭和61年度・縫谷代表理事と受け継がれ、昭和62年度「因幡千本桜完成引き渡し式」が挙行された経緯を確認し、現役メンバーは鳥取の桜の名所を作った偉大な事業について理解を深めることができました。

4月9日には有志で桜の園へ向かい記念撮影。今年は暖冬ということもあり、早くに満開を迎えた桜でしたが、現地では石碑の言葉を読み千本桜の意味に思いを馳せました。

そして「鳥取YEG OBの功績を多くの方に知ってもらい、桜の園因幡千本桜の利用向上を目指す。団体、個人を問わず、鳥取市の憩いの場の一つとなるよう働きかけたい」という趣旨のもと、「フォトコンテスト」を同時に開催いたしました。

各会員が満開の時期に桜の園へ足を運び、それぞれのライフスタイルに合わせて写真を撮影、応募しました。フォトコンテストの結果発表は5月例会で行います。

今年度は「OBを囲む会」「記念撮影」「フォトコンテスト」「5月例会での結果発表」と4つの事業の中で因幡千本桜の歴史を振り返ります。これからも桜の園が鳥取市の憩いの場となり、活気のある桜の園を築けるよう活動の場を広げていきたいと思っております。

YEGコミュニケーション委員会
委員長 大深 仁恵



因幡千本桜・お花見の会